

第1回 中国民族音楽と沖縄の伝統文化の祭典

蒼い草原から碧い海へ



小学校2年生 国語教材
馬頭琴物語「スーホーの白い馬」



歌三線 人間国宝 西江喜春 琉球舞踊 宮里加代子 会主



民謡 中村輝雄



民謡 ルーシー長嶺



空手 西平賀信



棒術 前城敬弘



空手 西平賀隆



ピアノ 市橋あゆみ



馬頭琴 李波



琵琶 涂善祥



二胡 張連生



テノール 包金鐘



二胡 段琳



オカリナ 黒野宏通



和太鼓 天くう



蓮昇二胡楽団

平成24年12月15日(土) 会場 沖縄コンベンションセンター劇場棟

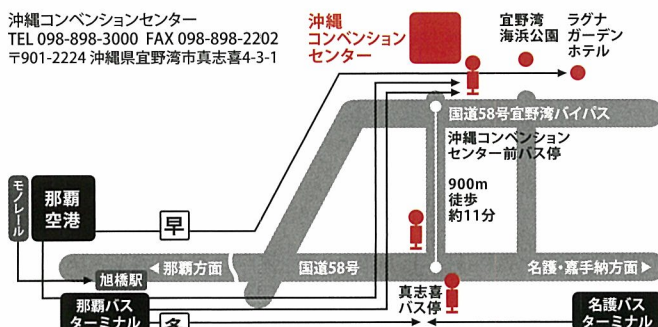
開場 17:30 開演 18:30 開催時間 18:30～21:30 全席 2,980円(税込) [前売券 2,500円(税込)]

主催:中国民族音楽と沖縄の伝統文化の祭典実行委員会
共催:琉球新報社 / 沖縄県日中友好協会(社団法人沖縄・中国友好協会)
後援:中華人民共和国駐福岡総領事館 / 沖縄県 / 那覇市 / 浦添市 /
宜野湾市 / 那覇市文化協会 / NPO法人中部日中経済交流会
協力:日本航空株式会社 / 日本トランスオーシャン航空株式会社 /
株式会社ジャンボツアーズ / 浦添商工会議所青年部 /
社団法人浦添青年会議所 / 社団法人宜野湾青年会議所 /
NPO法人CAN缶アートG
企画運営:株式会社大地エージェンシー

お問合せ:株式会社大地エージェンシー 沖縄営業所
TEL 098-943-8206 FAX 098-943-8207

■会場への路線図(概略)

沖縄コンベンションセンター
TEL 098-898-3000 FAX 098-898-2202
〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1



★ 西江 喜春(にしえ・きしゅん)

1940年生まれ。伊平屋村出身。国指定重要無形文化財(組踊音楽・歌三線)保持者。いわゆる「人間国宝」である。島では歌三線の音楽を聴きながら、育ったことが影響し、高校を卒業後、仕事の傍ら三線の世界に身をゆだねた。56歳の時にNTT沖縄支店勤務から沖縄県立芸術大学へ転身。以後、同大で助教授、教授を務めた学術派でも知られる。琉球古典音楽では安富祖流絃聲会に所属。40年前の1972年に教師免許、さらに1983年に師範免許を取得し、歌三線の審査委員、また伝統組踊保存会常任理事を務めるなど、50年にわたり芸の道を歩んだ。琉球舞踊への造詣も深い。

★ 宮里 加代子(みやざと・かよこ)

玉城流華代乃会・宮里加代子琉舞研究所会主。沖縄県うるま市出身。昭和24年生まれ。幼いころから踊るのが好きだった。高校を卒業後、働きながら琉舞(琉球舞踊)道場に通う。舞踊歴は45年。1998年(平成10年)、南米アルゼンチンで行われた海外公演の際、移民一世の人たちが私たちの踊る姿を見て涙を流して喜んだ姿が忘れられないという。「先祖に対する感謝の気持ち」が琉舞を続ける心得だ。

★ 中村 輝雄(なかむら・てるお)

1948年生まれ。沖縄県うるま市(旧勝連町)出身。沖縄民謡中村流育成会の会長。時間があれば、作曲活動にいそむ日々。沖縄が本土復帰したのは40年前の1972年(昭和47年)。その3年後に本土復帰を記念して沖縄国際海洋博覧会が開催されたが、その時に作曲したのが「海洋博は招くよ〜」だった。曲はヒットし、有名になった。最近、三線の楽譜を掲載せた「工工四」を出版。今回の祭典では自身が作曲した民謡2曲「本部水納島」「親子星」を披露する。「島の繁栄」と「親子の情愛」を三線の弦に乗せて楽し、かつ切なく歌う。

★ ルーシー長嶺(るーしー・ながみね)

ペルー生まれのペルー育ち。両親は沖縄出身の日系三世。5歳のころから祖母の弾く三線の曲に乗せて沖縄民謡を歌い始め、10歳で三線を手に独りで歌えるまでに成長。18年前の1994年来沖し、琉球古典音楽、琉球民謡、八重山古典音楽を本格的に学び、教師、師範免状を取得した。八重山島で開かれる「とぅばらーま大会」では見事、優勝。既にアルバムも2枚リリースするなど、プロ活動を地道に続けている実力派の“沖縄の歌姫”である。

★ 西平 賀信(にしひら・よしのぶ)

1943年生まれ。沖縄県国頭村出身。小学校5年生のころから、首里手(しゅいでい)の流派を引き継ぐ叔父から空手の手ほどきを受けた。以来、空手とは縁が切れない関係に。那覇に進出してからは仕事の傍ら、各流派の道場の門をたたいた。いかにしたら強くなるか―。タイにわたり、キックボクシングに一時、のめりこんだ時も。米国や中国では武術交流を果たし、本場沖縄の空手を披露した。「実践空手」を身上とする強者(つわもの)。組手中心の稽古にあこがれ、現在、沖縄空手道小林流小林館協会に所属。範士9段。武道歴は54年を超える。

★ 前城 敬弘(まえしろ・ゆきひろ)

沖縄県南城市(旧知念村)出身。65歳。高校3年のころから空手に興味を持ち始め、仕事の傍ら空手の道へ。武道歴46年。沖縄空手道小林流小林館協会所属。教士8段。日中は勤務し、夜は同市で空手道場の館長を務め、後進の指導に当たる。空手と古武道に磨きをかける団塊世代。

★ 西平 賀隆(にしひら・よしたか)

那覇市出身。1968年生まれ。空手好きの父親(賀信氏)の影響を受けて、幼少のころから空手の手ほどきを受けた。体は小柄ながら、抜群の運動神経を生かして、めきめき腕を上げた。アメリカでアクションスターだった山下忠志師範(宗家)が引率する世界空手道小林流水拳道と沖縄空手道小林流小林館の二つの道場から段級認定を受けた。武道歴は30年余。教士7段。

★ 市橋 あゆみ(いちはし・あゆみ)

名古屋出身のピアニスト・作曲家。愛知県立芸術大学作曲科卒業。ピアノ教室講師。中国の音楽・文化を愛し、二胡や竹笛などの伴奏を多数つとめる。多くの作編曲を手がけ、編曲した「二胡協奏曲 桜花緑」「海棠の花」は、2004年に関西21世紀交響楽団によって初演される。2005年には中国を訪問、各地の大学で中国のピアノの名曲「黄河」を独奏する。第7回長江杯国際コンクールピアノ部門入賞。

★ 李波(リボー)

中国内モンゴル自治区出身。国家一級演奏家。内モンゴルのラジオテレビ局首席奏者を経て、1995年から活動拠点を日本(名古屋市)に移すとともに、2007年9月から2年間、米国フシントン大学民族音楽学科で馬頭琴の客員教授を務めるなど、中国、日本、アメリカで幅広い音楽活動を続けている。馬頭琴奏者として高い芸術性と高度な技術を持ち合わせており、李波の演奏する音楽は定評がある。ちなみに、マイクロソフト社の創業者であるビル・ゲイツ氏の豪邸に招かれて1時間も演奏したというエピソードはつとに有名。

★ 涂善祥(トゼンショウ)

中国上海音楽学院民族器楽部・琵琶専攻を卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程を修了。1970年からプロの琵琶奏者として音楽活動を開始し、中国各地でさまざまなコンサートに出演する傍ら、テレビ、ラジオ等でも活躍した。多数の受賞歴を有する国家一級演奏家の肩書を持つ。また海外では韓国、フランス、ロシア、アメリカ、カナダ、メキシコ、キューバ等で2500回の公演をこなした実力派。繊細かつ大胆な演奏。彼が操る琵琶の調べには壮大な世界観が漂う。国境を越えた音楽の魅力に、心を癒される人たちは多く、中には涙する人もするという。今回の祭典で中国琵琶の魅力をたっぷり聴かせる。

★ 張連生(チョウレンセイ)

中国生まれ。中国北京民族楽団首席演奏者であると同時に、中国音楽家協会会員、中国音楽家二胡協会理事、中国民族管弦楽協会会員の肩書を持つ。8歳から二胡(胡弓)の英才教育を受け、幾人もの教師に師事した。20歳で中国を代表する国立放送民族楽団に入団。全国コンクールでは2度にわたり賞を受賞し、二胡奏者としての地位を確立した。日本ではツアー演奏を手掛け、各地で熱烈な喝采を浴びた。2弦で喜び、悲しみ、楽しさを表現する。感性和音楽の一体化を目指す張連生は「音楽は人の魂を表現する」と主張してやまない。

★ 包金鐘(パウジンゾン)

中国内モンゴル自治区出身。内モンゴル芸術学院声楽科を卒業後、学校教師を経て世界的に有名な内モンゴル青年合唱団の一員として、世界各国の合唱祭に参画するなど、テノール歌手としてキャリアを積んだ。2001年来日し、愛知県立芸術大学声楽科を卒業。2006年には「万里の長城杯国際音楽コンクール」に出場し、見事、1位に輝いた。温厚で親しみやすい性格から日本のファンも多い。日本の歌謡曲も歌いこなす逸材で、アルバムもリリースしている。すばらしい草笛奏者としても名高い。

★ 段琳(ダンリン)

中央音楽学院出身、民族音楽からクラシック、ヒップホップまでジャンルを超えて活躍する二胡アーティスト。1993年、四川省広元市音楽コンクール少年部優秀賞。2000年、中国全国中小学生の楽器コンクール四川区準優勝。2003年、中国最難関の北京中央音楽学院入学。安如励、田再励に師事。2007年、中央音楽学院卒業。北京で演奏活動。2009年、来日。2012年、名古屋を拠点にアーティスト活動開始。

★ 黒野 宏通(くろの・ひろみち)

1952年愛知県豊田市生まれ。現在、ギター・オカリナ教室を開催しつつ、月4回のペースで各地でコンサートを行う。モンゴル民謡「スーホの白い馬」インス・パイアードソングほか作曲多数。1990年、ヒロミチオカリナを三笠宮殿下に献上。2005年、愛地球博にて演奏。作曲の「風飛行」は地球市民村のテーマ曲の1つになった。

★ 和太鼓 天くう

愛知県瀬戸市を本拠地として活動する和太鼓グループ。13年前の1999年7月、わずか4人で発足した。何もないゼロからのスタートだったが、地域の人たちの温かい支援に支えられ、会員は今では10代から80代まで27人に膨れ上がった。愛知県内の祭りや地域の行事、また大学や病院、公民館等での出張公演を行いながら、着実に実力を蓄え、ついにイギリスやオーストラリア、カナダ等での海外公演を5回も敢行するほどに成長。何も飾らない、地域に根ざす音楽活動をモットーに、天にとどろく和太鼓を打ち鳴らす。

★ 蓮昇二胡楽団

芸術総監督・張連生率いる、二胡を中心とした中国楽器の楽団。2007年2月に結成。大阪の京橋を本拠地とし、10代から70代までの幅広い年齢層のメンバーで編成。毎年の定期演奏会のほか、2012年6月、中国の新疆ウイグル自治区「新疆芸術学院」コンサートなど、海外を含む公演活動を意欲的に実施中。